


会派研究研修・視察調査報告書

平成31年 3月28日

常滑市議会議長 殿

会 派 名 創造未来  
会派の代表者 成田 勝之 

会派等の研修について下記のとおり報告します。

記

1 期 日 11月19日（月）～20日（火）

2 視察先及び研修先

(1) 国土交通省「海上空港における今後の防犯対策と立地自治体の役割について」

(2) ・全国モーターボート競走施行者協議会

・モーターボート競走会

・モーターボート振興会

・J L C

・平和島劇場

3 参加者

成田勝之、都築周典、杉江繁樹、相羽助宣、伊藤史郎、盛田克己、川原和敏、  
冨本健（体調不良により欠席）

4 研修の内容

別添資料①のとおり

5 経費の報告

別添資料②のとおり



## 創造未来視察報告

### 期日と視察先と視察テーマ

平成 30 年 11 月 19 日

- ・国土交通省航空局航空ネットワーク部空港技術課  
「海上空港における今後の防災対策と自治体の役割について」

平成 30 年 11 月 20 日

- ・ボートレース各々の機関（振興会、競走会、全施協、JLC、平和島場外売場）  
「最近のボートレースの状況と今後の取組み、要望などの意見交換」

### 「海上空港における今後の防災対策と自治体の役割について」

- |                         |     |       |
|-------------------------|-----|-------|
| 近畿圏・中部圏空港政策室・航空物流室企画調整官 | ・ ・ | 下田潤一氏 |
| 空港ネットワーク部空港技術課長         | ・ ・ | 梅野修一氏 |
| 空港ネットワーク部空港技術係長         | ・ ・ | 深谷敏和氏 |

関西国際空港が平成 30 年 9 月 4 日の台風により浸水し、空港機能がマヒして 8,000 人あまりの人が空港島内に閉じ込められた、中部国際空港がある常滑市としては、空港の防災対策等に取り組む、国の方針などを勉強し、直近の空港を守るために何をすればいいのか、関西国際空港が被災した情報を参考に勉強した。

平成 31 年度の国の空港関連の整備事業として

- 1、首都圏空港の機能強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・736 億円  
東京オリンピックパラリンピックに向け空港処理能力を約 8 万回拡大
- 2、地方空港等のゲートウェイ機能強化・・・・・・・・・・1,109 億円  
訪日外国人旅行者を 2020 年 4,000 万人とする
- 3、航空イノベーションの推進・・・・・・・・・・・・・・・・353 億円  
先端技術の活用により空港内外の動線等の革新
- 4、セキュリティセイフティの万全な確保・・・・・・・・・・140 億円
  - 1) 航空安全対策の強化・・テロ等
  - 2) 安全安定的な運航の確保

・空港の耐震対策、老朽対策、航空機の安全性対策

空港における耐震対策について

・空港は災害時において、救急救命等の拠点及び緊急物資、人員等の輸送拠点としての役割が求められる。

・航空輸送上重要な空港（中部を含め 6 空港）では、機能確保、背後経済活動の継続性確保などから、最低限必要となる、施設や管制施設等の耐震対策は実施されている。

<主な質疑>

問・災害対策としても中部国際空港に 2 本目滑走路は必要ではないか。

答・愛知県からの要請は存じている、名古屋港の浚渫泥を埋める計画にもあるが、はっきりとつくりますという状況ではない。

問・中部国際空港のアクセスは海上連絡橋による道路と私鉄が一本であり、災害時には空港が孤立する心配があるがどのように考えているか。

答・今の段階で国としての方針は決まってない。中部は緊急対応として海を活用することもできるのでは、地元自治体としては空港の再開に向けた出動訓練とか避難者に対応する取り組みなど訓練を通じて備えるべき。

#### <要望>

中部国際空港は日本経済を支える中部圏の輸送の要でもあり、災害への対応や二本目滑走路の早期実現をお願いしたい。

#### <感想>

##### **川原和敏議員**

空港が果たす役割は災害時の早期運航が必要であり、そのための関係機関や自治体などと事前の対応を決めておく必要を感じた。

##### **成田勝之議員**

空港機能がマヒすれば、災害時の救援活動にも大きな影響を受ける。想定した訓練の必要性や、台風などは災害予知をして空港に人を来させない対応も考えるべき。

##### **伊藤史郎議員**

空港は人と物を運ぶだけではなく、国民生活に密着した機能を有しているため、災害時に早期の運航が求められる、そのため機能強化の必要性を感じる。

##### **都築周典議員**

空港会社単独での災害対応ではなく、近隣自治体、関係企業、団体等の協力体制が必要であり訓練の充実を感じる。

##### **盛田克己議員**

南海トラフ地震が起きた場合の想定外の対応を考えるべきではないか、中部国際空港は大型船の航路が近いため、関空のようにならないことを願う。空港は経済活動に大きな役割を果たしていることをもっと認識すべきであり、マヒしない事前の対応が必要。

##### **相羽助宣議員**

災害への対応を考えると、二本目の滑走路が必要と感じる、連絡橋の耐震強度が心配である。

##### **杉江繁樹議員**

中部空港へのアクセスは現状でも心配であり、台風などでは事前の予知対策をとり人を来させないことも必要だ、地元自治体としても要望等に取り組むべきだ。

<別紙2>交通費詳細

月 日	交通移動ルート	交通機関	金 額
H30 11/19	常滑駅～中部国際空港	名古屋鉄道	7人×310＝ 2,170円
	中部国際～羽田空港	ANA	7人×7,900＝ 55,300円
	羽田空港～浜松町	モノレール	7人×490＝ 3,430円
	浜松町～有楽町	JR山手線	7人×140＝ 980円
	有楽町～永田町	東京メトロ	7人×170＝ 1,190円
11/20	永田町～溜池山王～新橋	東京メトロ	7人×170＝ 1,190円
	新橋～田町	JR山手線	6人×140＝ 840円
	田町～品川	JR京浜東北線	6人×140＝ 840円
	品川～大森海岸	京急	6人×170＝ 1020円
	平和島～羽田空港	京急	6人×370＝ 2,220円
	羽田空港～中部国際	ANA	6人×7,900＝ 47,400円
	中部国際～常滑	名古屋鉄道	6人×310＝ 1,860円
	交通費	合計	118,440円

※11月20日の午後より、杉江繁樹議長は他の公務で別行動

交通費	118,440円
宿泊費	47,600円
<u>土産代</u>	<u>20,412円</u>
総合計	186,452円